



トキワ荘看板

時代と共に変化していったトキワ荘の看板書体。館外に設置された看板は、当時の写真を参考に2つの書体で再現されている。



©トキワ荘マンガミュージアム

昭和30年代当時を再現した共同炊事場。小物類は時代を感じさせるもので、飲料水の容器1つにまでこだわっている。



©トキワ荘マンガミュージアム

トキワ荘ゆかりの漫画や書籍が展示されている1階のマンガラウンジ。著名マンガ家たちが開館記念に寄せたお祝いメッセージ入りの色紙プリントのほか、手塚治虫がトキワ荘解体時に天井板に描いたという『リボンの騎士』のサファイア姫と自画像、トキワ荘のジオラマなどが展示されている。



手塚治虫が入居し、続いて藤子不二雄(A)、藤子・F・不二雄が暮らした14号室。現在は展示空間になっている。

シニアライフ・コンシェルジュが案内する
都内の名処



CHAPTER
18

昭和史に残る伝説のアパートを再現

**豊島区立トキワ荘
マンガミュージアム**

東京に観光名所は数あれど
あまり知られていない
穴場スポットは数多く存在します。
そんな「都内の名処」を、
シニアライフ・コンシェルジュ
藤野政史がご案内します。
今月は、都営大江戸線の落合南長崎駅より
徒歩5分の場所にある
「豊島区立トキワ荘マンガミュージアム」に
出掛けてみましょう。



ふじのまさひみ
藤野政史

グローバルライフ株式会社
代表取締役
シニアライフ・コンシェルジュ
シニア世代の皆さまが楽しく、
笑顔で、遊び、学び、集う会
「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!

グローバルライフクラブ 検索
0120-70-0202

現代マンガの巨匠が集った聖地

手塚治虫、寺田ヒロオ、藤子不二雄(A)、藤子・F・不二雄、石ノ森章太郎、赤塚不二夫……。昭和を代表するマンガ家たちが、若手時代に暮らした木造2階建てのアパート。それが豊島区椎名町にあったトキワ荘です。老朽化のため、1982年に取り壊されてしまった伝説のアパートは、地域住

らの作りには目を見張るものがあります。

昭和30年代の暮らしを追体験

マンガ家の部屋を再現したスペース、トキワ荘の歴史や当時の暮らしを紹介する部屋、トキワ荘があった椎名町の歴史を紹介する常設展示室など、同じ部屋はひとつとしてありません。「3つの再現部屋は、実際に住んでいた先生の監修によって調度品に至るまで忠実に再現しています。昭和20〜30年代のマンガ家たちの生活を垣間見ることができ、貴重な空間ではないでしょうか」と北山さ

電話ボックス

屋外には、当時広く普及していた丹頂型とよばれる電話ボックスが置かれている。マンガ家たちが出版社と連絡を取る際に使用していたそう。



窓辺に広がる風景

窓辺には、実際に部屋から見えていた風景が描かれている。夜は窓に灯りがともり、建物の外からはマンガ家が徹夜をしているかのように見える演出も。



豊島区立トキワ荘マンガミュージアム

- 所在地／豊島区南長崎3-9-22 南長崎花咲公園内
- 最寄駅／都営大江戸線「落合南長崎駅」より徒歩5分、西武池袋線「東長崎駅」より徒歩10分、西武池袋線「椎名町駅」より徒歩15分
- 開館時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
- 休館日／月曜日(祝日の場合は翌平日)、その他年末年始、展示替え期間
- 入館料／HPからの予約優先制
特別企画展期間は有料(詳細はHPをご確認ください)
※履物を脱いで入館する施設となります。裸足での入館はできませんので、靴下の着用やスリッパのご準備をお願いします。



©Forward Stroke inc.

当時の雰囲気そのままに、玄関で靴を脱いで上がる仕様になっている。階段にはギシギシときしむ音が鳴る工夫も。

いるのだそう。日本のマンガ文化の原点とも言うべきこの地を守るためにも、施設に足を運ばない方は寄附という形で関わるのもひとつの方法かもしれません。

北山さんが言うように、驚いたのは細部に至るまでエイジング加工が施されている点です。外壁の経年変化や鉄格子の赤茶けたサビ、トイレの黄ばみなど、本物さながらを出しています。

当時のトキワ荘の様子をリアルに体験できる空間になっています。昭和の香り漂うアパート内を、広報の北山さんに案内していただきました。「1952年に棟上げされたトキワ荘は一般の方も住むごく普通のアパートでしたが、棟上の翌年に手塚治虫先生が入居したのをきっかけに、多くのマンガ家が入り始めるようになります。広い廊下の両側には四畳半の居室が並び、アパートというより現代の寮のイメージに近いかもしれません。今回再現された建物は築10年頃のようすを再現しており、あえて外壁や内装を汚すエイジングという演出を施しています」

